

## 思いやりの心

小学三年 阿部 実桜璃

私は学校へ電車で通学しています。電車は一回乗りかえがありません。

水泳のじゅ業があったある日に、学校が終わりその日は電車にすわって帰りました。のりかえ駅で次の電車に乗ろうとした時に持っていたプールバックがないことに気付きました。すぐホームの駅員さんにプールバックのわすれ物がとどいていないかかくにんしてもらいましたかとどいていないと言われました。急いでお母さんにプールバックを電車にわすれたことを連絡したら一度家に帰ってくるように言われました。家からお母さんにわすれ物が届いていないかを駅まで何度か電話でかくにんしてもらったところさい初に乗った駅にとどいていることがわかりました。

私は急いで取りに向かいました。プールバックを受け取る時に駅員さんから、「とどけてくれた人は同じ学校の人でしたよ。」と聞きました。でも名前は聞いていないらしく教えてもらえませんでした。

私はとどけてくれた子が家に帰るのがおそくなるのにわざわざと中の駅でおりてさいしょのじょう車駅までとどけてくれたことを知

り、そのやさしさがとてもうれしくてなみだが出てきました。

次の日にだれがとどけてくれたかをさがしましたがけっきよくだれがとどけてくれたかはわかりませんでした。

私は今でもとどけてくれた子の思いやりに感しやし、この気持ちこそが親らん聖人が教えるじひの心なのだと思います。自分のためではなくだれかのためを思って毎日を生きることがまわりの人を幸せにすることなのだ学びました。私もこれからの生活でまわりの人を思いやるじひの心をわすれずに生活していこうと思います。